成果の説明書

(氏名) 木下まゆみ	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>◆研究</p> <p>(1) 集団討論に関して</p> <p>A. 前年に採択された平成 28 年度高崎経済大学研究奨励費の成果を、論文にて発表した。「木下まゆみ 良い議論はいかに生じるか——集団討論における発言の方向性とターンテイキングの視覚化 高崎経済大学論集, 60(4), 309-318.」</p> <p>B. 集団討論における聞き手の同期的注視行動について、研究計画「集団討論における聞き手の注視行動の同期性対話パターンに及ぼす影響」にて平成 29 年度高崎経済大学競争的研究費に申請、採択された。動作解析ソフトおよび数的処理ソフト等を購入し、信頼性の高い同期的行動の計測を検討した。</p> <p>(2) 転移と思考スタイルについて</p> <p>前年度の転移に関する研究について、介入方法および課題の手続きを改良し、追試データを収集した。また、思考スタイルに関するグラウンド・セオリーである 2 重過程モデルに関する知見の収集・整理を行った。</p> <p>◆授業以外の教育への取り組み</p> <p>前年と同様に、ゼミ生および授業受講者を対象に、コミュニケーション力の向上を目的としたワークショップを開催した。講師は、インプロ・ジャパンより招聘し、即興劇を中心としたコミュニケーション・チャンネルの意識化を図った。</p> <p>◆テキスト出版</p> <p>心理学テキストの執筆を行い、今年度の発行を予定している。</p> <p>◆社会活動</p> <p>日本パーソナリティ心理学会理事として、学会賞の選考に関わる活動を行った。</p> <p>日本パーソナリティ心理学会常任編集委員として、論文査読を行った。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>高崎経済大学附属高等学校にて、出前授業を行った。</p> <p>高崎経済大学教員免許状更新講習にて、「教育の最新事情」を担当した。</p> <p>群馬県教員育成協議会委員として、「群馬県教員育成指標」の策定に従事した。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 集団討論に関して</p> <p>研究助成を受けた計画、「集団討論における聞き手の注視行動の同期性対話パターンに及ぼす影響」の研究成果を、学会発表等によって公表する。また、討論の対象を広げ、同期的注視行動の一般化を検討する。</p> <p>(2) 転移と思考スタイルについて</p> <p>データ分析を進め、効果的介入および思考スタイルの影響を明らかにする。また、前年に続き、近年の 2 重過程モデルに関する議論を整理し、カテゴリーモデルと特性モデルの妥当性を検討する。</p>	